

福生市議会 だより

FUSSA

No.207

発行 福生市議会
平成29年7月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成29年 第2回定例会



▲ふっさ環境フェスティバル 学童クラブによるステージイベントの様子

北朝鮮の度重なるミサイル発射 及び核開発の中止を求め 意見書を提出

本会議の経過

平成29年第2回定例会は、6月6日から22日まで会期17日間で開催され、13名の議員による一般質問が行われました。
また、条例の一部改正、一般会計補正予算など市長提出議案13件、委員会及び議員提出議案3件、陳情2件が審議されました。

▼1日目(6日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を17日間と決定しました。
続いて、全国市議会議長会より表彰された議員へ表彰状の伝達が行われました。(8面に掲載)その後、4名の議員が一般質問を行いました。

▼2日目(7日)は、5名の議員が一般質問を行いました。
▼3日目(8日)は、4名の議員が一般質問を行いました。

▼4日目(9日)は、市長提出議案及び陳情については、所管の委員会に付託されました。また、

福生市表彰条例に基づく自治功労表彰及び一般表彰については、委員会への付託は省略され、原案のとおり同意することに決まりました。

なお、議員提出議案1件については否決となりました。

▼5日目(22日)は、最終日で、委員会へ付託された市長提出議案4件は委員長報告の後、原案のとおり可決及び同意されました。また、陳情2件のうち1件は不採択、1件は採択となりました。

続いて、新たに提出された市長提出議案7件、委員会及び議員提出議案2件については、慎重審議の結果、原案のとおり同意及び可決され、今定例会を終了しました。

委員会提出議案第3号 駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書(要旨)

駐留軍関係離職者等臨時措置法は、5年の期限延長を経て、平成30年5月16日をもって失効となる。
同法は、昭和33年の制定以来、基地の統合・返還により生じた多数の離職者対策をはじめとして、必要に応じた施策を講じつつ、期限延長を続けてきたところである。
現在においても、在日米軍再編に伴う雇用問題が懸念されている。

よって、福生市議会は、政府等に対し、同法の期限を延長し、日本人従業員の雇用安定確保及び離職者対策に万全を期するよう強く要請する。

(提出先 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長)

議員提出議案第3号

北朝鮮の度重なるミサイル発射及び核開発の中止を求める意見書(要旨)

北朝鮮は我が国政府はじめ、国際社会からの度重なる自制要請を無視し、弾道ミサイルの発射を行っている。

さらに、北朝鮮はミサイルによる在日米軍基地を標的とする声明を出しており基地のみならず本市を含む周辺地域に甚大な被害が想定され断じて許されない。

また、核開発についても、核開発を中止する意思のないことは明らかである。

よって、政府においては、国民の生命、財産を守るため、国際社会と連携協力し、北朝鮮のミサイル発射及び核開発の中止に向け、あらゆる有効な措置を講じることが強く要請する。
(提出先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長)

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択

○介護保険制度の改善を求める意見書の提出に関する陳情書(29-2号)
(不採択理由)

◆採択

○「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の延長に関する陳情書(29-3号)

今回の介護保険制度の改正は、限られた財源の中、地域包括ケアシステムの深化と推進、また、この制度を持続可能とするためのものであり、意に沿い難い。

主な内容

可決された案件	2面
一般質問	3~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▽賛成多数

◎福生市学校給食センター条例の一部を改正する条例

例 新学校給食センターの建設により、福生市第一学校給食センター及び福生市第二学校給食センターを統合し、移設することに伴い、必要な規定を整備するもの。

◎平成29年度福生市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1億3186万5千円を追加し、総額を249億4186万5千円とするもの。

歳入の、国庫補助金3258万2千円は、保育所等整備交付金、体育館非構造部材落下防止対策事業補助金及び第一中学校新校舎便所改良事業補助金。都補助金4828万3千円は、消費者行政推進交付金、体育館非構造部材落下防止対策事業補助金及び第一中学校新校舎便所改良事業補助金。基金繰入金3千万円は、学校施設等整備基金繰入金。市債2100万円は、小学校体育館非構造部材

落下防止対策事業債。歳出の、戸籍住民基本台帳費64万8千円は、出入国管理及び難民認定法の改正により外国人の在留資格の追加があったことから、住民基本台帳システムの改良を行うもの。児童福祉費494万1千円は、社会福祉法人不動福社が行う熊川保育園の保育室の拡張工事に対して補助を行うもの。商工費3571万6千円は、今年4月の商工会の人事異動による福生市商工会補助金(人件費分)208万7千円の増額と、高齢者を対象に悪質商法など消費者被害を未然に防ぐための啓発事業などに要する経費3362万9千円。基金費1億円は、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金への積立金で、小学校体育館非構造部材落下防止対策事業及び第一中学校新校舎便所改良事業に対する文部科学省所管の国庫補助金及び都補助金を追加することから、当初予算で充当していた特定防衛施設周辺整備調整交付金1億円を財源振替し、事業基金への積立金とするも予備費944万円減は、財源調整。

落下防止対策事業債。歳出の、戸籍住民基本台帳費64万8千円は、出入国管理及び難民認定法の改正により外国人の在留資格の追加があったことから、住民基本台帳システムの改良を行うもの。児童福祉費494万1千円は、社会福祉法人不動福社が行う熊川保育園の保育室の拡張工事に対して補助を行うもの。商工費3571万6千円は、今年4月の商工会の人事異動による福生市商工会補助金(人件費分)208万7千円の増額と、高齢者を対象に悪質商法など消費者被害を未然に防ぐための啓発事業などに要する経費3362万9千円。基金費1億円は、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金への積立金で、小学校体育館非構造部材落下防止対策事業及び第一中学校新校舎便所改良事業に対する文部科学省所管の国庫補助金及び都補助金を追加することから、当初予算で充当していた特定防衛施設周辺整備調整交付金1億円を財源振替し、事業基金への積立金とするも予備費944万円減は、財源調整。

◎新扶桑会館整備工事(建築)請負契約

現在の扶桑会館を取り壊し、新たに市営福生駅西口駐車場跡地に扶桑会館を整備するもので、予定価格1億5千万円以上のため、福生市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の同意を得ようとするもの。契約金額2億6418万9600円。

◎福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

教育委員会委員として多年にわたり本市の発展に貢献された平野裕子氏を、福生市表彰条例第3条第1項第3号の該当者として、自治功労表彰することに同意するもの。

◎福生市表彰条例に基づく一般表彰について

福生市表彰条例第4条第1号の該当者24名を表彰するもの。

教育委員会委員として貢献された徳永喜昭氏、選挙管理委員会委員として貢献された木村勝代氏、井上武氏、野島征三氏、町会長等として貢献された溝淵幸太郎氏、佐藤喜久雄氏、渡邊徹夫氏、西川雅博氏、小澤芳輝氏、文化財保護審議会委員と

して貢献された河上一雄氏、国民健康保険運営協議会委員として貢献された田坂哲哉氏、社会福祉協力委員として貢献された山崎初江氏、藤原勝氏、石川實氏、田村洋明氏、介護認定審査会委員として貢献された小澤正明氏、交通安全推進委員会委員として貢献された山下三郎氏、國友久夫氏、藤嶋秀機氏、村野茂氏、薬物乱用防止指導員として貢献された小林歌子氏、地域自立支援協議会委員、社会教育委員、地域福祉推進委員会委員、公民館運営審議会委員、学校給食センター運営審議会委員、みどりの推進委員及び消防団員として貢献された大杉浩司氏、消防団員として貢献された清水辰雄氏の各氏を、一般表彰することに同意するもの。



▲福生市表彰式で表彰された方々

前の西武信用金庫を終点とする路線の位置づけが、まちの発展や本市内を通過する新たな都道幹線道路整備などにより幹線道路から生活道路に変貌したことから、その管理を都から本市へ移管して市道第1279号線として認定し、管理するもの。また、第一中学校南側の教会踏切から下る市道第16号線に取りつく私道は、降雨時に公道から雨水が流れ込み、排水処理を行っても、なお十分な雨水対策が取れず、放置すると重大な被害が想定されることから、土地所有者からの私道の寄附の申し出に基づき、市道第335号線として認定し、管理するもの。

◎福生市農業委員会委員の任命について

福生市農業委員会委員として、石川恵一氏、石川泰広氏、小山明男氏、古谷清一氏、村野昭氏、森田龍幸氏及び吉澤英治氏の7名を任命同意するもの。

◎駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書(委員会提出議案)

1面に掲載しています。

▽北朝鮮の度重なるミサイル発射及び核開発の中止を求める意見書(議員提出議案)

1面に掲載しています。

都道166号線のうち、松林通りを起点、福生駅

討論

●「テロ等組織犯罪準備罪」の慎重審議を求める意見書

反対

テロ等組織犯罪は国際協力なくして防止できない。また、国会審議においても一般人にこの罪は及ばないことが確認されており、この意見書には反対する。

■賛成

今回の介護保険制度の改正によると、平成30年8月から収入によっては3割負担となることが決まった。利用料の自己負担が増える理由はなく、賛成する。

■反対

この意見書には概ね賛成ではあるが、「あらゆる措置を講ずること」との文言ではなく、「対話と圧力」など平和的解決に向けた文言を入れるべきであり、反対する。

●北朝鮮の度重なるミサイル発射及び核開発の中止を求める意見書

賛成

我が国は唯一の戦争被爆国として、世界恒久平和の実現に向けた強い信念を持った国であり、本意見書はこれを踏まえ、「あらゆる有効な措置を講ずること」を強く要望する」としてあり、何ら反対する理由はなく、賛成する。

■賛成

今回の介護保険制度の改正によると、平成30年8月から収入によっては3割負担となることが決まった。利用料の自己負担が増える理由はなく、賛成する。

■反対

この意見書には概ね賛成ではあるが、「あらゆる措置を講ずること」との文言ではなく、「対話と圧力」など平和的解決に向けた文言を入れるべきであり、反対する。

●介護保険制度の改善を求める意見書の提出

反対

我が国は唯一の戦争被爆国として、世界恒久平和の実現に向けた強い信念を持った国であり、本意見書はこれを踏まえ、「あらゆる有効な措置を講ずること」を強く要望する」としてあり、何ら反対する理由はなく、賛成する。

「議会日誌」

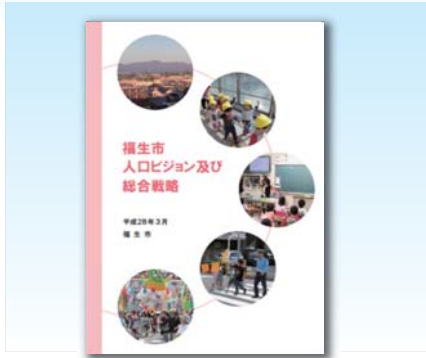
11日	▼5月	議会運営委員会 第1回臨時会	6日	▼6月	第2回定例会1日目 議会運営委員会	
2日	議会運営委員会	6日	第2回定例会1日目	議会運営委員会	27日	瑞穂斎場組合議会議員総会
25日	例月出納検査	30日	議会運営委員会	27日	例月出納検査	
18日	臨時総会	24日	期総会	20日	議会運営委員会 第2回定例会5日目	
17日	東京都市議会議長会定例会	24日	東京都市議会議長会定例会	22日	議会運営委員会	
18日	議会運営委員会	25日	例月出納検査	20日	議会運営委員会	
24日	川間複線化促進協議会監査	26日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事會・総会	20日	議会運営委員会	
25日	関東市議会議長会定期総会	29日	東京都市議会議長会定期総会	22日	議会運営委員会	
12日	▼4月	18日	定期監査(19日まで)	9日	第2回定例会4日目	
12日	全国市議会議長会基	18日	定期監査(19日まで)	9日	第2回定例会4日目	
12日	地協議会関東部会正副会長・監事・相談役会談	19日	東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会	13日	建設環境委員会	
17日	東京都市議会議長会定期総会	24日	全国市議会議長会定期総会	15日	市民厚生委員会	
18日	臨時総会	24日	期総会	14日	総務文教委員会	
18日	議会運営委員会	25日	例月出納検査	16日	横田基地対策特別委員会	
24日	八高線八王子・高麗川間複線化促進協議会監査	26日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事會・総会	16日	横田基地対策特別委員会	
25日	関東市議会議長会定期総会	29日	東京都市議会議長会定期総会	15日	市民厚生委員会	
11日	▼5月	6日	第2回定例会1日目	7日	第2回定例会2日目	
2日	議会運営委員会	6日	第2回定例会1日目	7日	第2回定例会2日目	
11日	第1回臨時会	6日	議会運営委員会	7日	第2回定例会2日目	

総合戦略の具体的な取り組みについて

田村 正秋 議員

質問 総合戦略に基づく定住化施策の具体的な内容と、定住化に向けた市長の思いを伺う。

市長 今年度予算で総合戦略に位置づけた定住化施策は109事業、事業費は69億8108万2千円。定住化対策は本市の命題であり、人口はまちの活力の原動力である。今後も手を緩めず、総合戦略の各定住化施策を推進し、子育て世代をはじめとした多くの方々の定住を促し、本市に愛着を持っていただくよう活気あるまちづくりを進める。



▲福生市人口ビジョン及び総合戦略の冊子

一般質問 (要旨)

市政のここを問う

今定例会では、13名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

要旨は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページに全て掲載してあります。

詳しくは、8月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー、図書館または福生市ホームページからご覧ください。

マイナンバーカードの運用状況とスケジュールについて

乙津 豊彦 議員

質問 情報連携やマイナポータル等、マイナンバー制度の運用状況と今後のスケジュールについて伺う。

市長 4月21日付けの内閣府・総務省の文書によれば、7月18日から情報提供ネットワークシステムが稼働し、3箇月程度は試行運用期間とするとのこと。その間、申請者等から添付書類の提出を受け、情報連携で事務処理して業務習熟を図り、従来の事務処理結果とのそごを確認・検証する。これまで、運用開始後は添付書類不要と説明されているが、

国の広報等での周知とともに、本市広報、ホームページ等でも周知する。



▲マイナンバーカード見本

電線類地中化について

清水 義朋 議員

質問 無電柱化推進に向けた都の動きや情報等をつかんでいるか。市道の無電柱化対策について本市の考えは。

市長 都は、セーフシティ実現の一環として無電柱化推進条例制定や都道の電柱新設禁止等を掲げ、今年度当初予算では無電柱化チャレンジ支援事業として、対象となる区市町村道の無電柱化を100%補助するとした。市では、今回の補助金の活用を検討しており、本町通りをチャレンジ路線として都と調整中で、早ければ今年度補正予算で事業化する。



▲本町通りの電柱の様子

他国からの武力攻撃等に対する安全対策は

三原 智子 議員

質問 ここ数年の世界情勢は、特に平和に関する事柄で不安定さが増しているが、他国から武力攻撃等があった場合の本市の対応を伺う。

市長 国は、全国瞬時警報システム（Jアラート）による緊急情報の伝達や、避難行動等を周知しており、本市ホームページにも掲載した。武力攻撃事態等に対しては、福生市国民保護計画により市民へ情報伝達と避難指示等を行い、被害発生時は関係各機関と連携して対応していく。今後も引き続き、国や都からの情報

収集、市民への正確で迅速な情報伝達に努める。



▲Jアラートについてお知らせするリーフレット（ふっさ安全安心まちづくりだより「あんまち!!」抜粋）

道路整備計画の概要について

町田 成司 議員

質問 道路は市民生活の基盤であり、生活に一番接する重要なことだと考える。通学路の整備について、道路整備計画の基本的な考え方の中ではどのように考えているか伺う。

市長 通学路の安全対策については、歩行者の安全確保の観点から、道路を改修し、路面標示や歩行者防護柵を設置する等の手法は、通学路に限らずどのような道路においても同様である。

今後、策定するこの道路整備計画に、通学路に関する視点も網羅して

取り組んでいく考えである。



▲市内の通学路

平成29年第2回定例会本会議の傍聴者数等

- ・傍聴者数 延べ63人
- ・インターネット議会中継閲覧数 (6月6日～6月22日) 延べ170件

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成29年第3回定例会は、9月5日(火)から28日(木)までを予定しています。

- ◆本会議 (予定) 午前10時開会
9月5日(火)～8日(金)及び28日(木)
- ◆決算審査特別委員会 (予定) 午前9時30分開会
9月12日(火)～15日(金)
- ◆常任委員会 (予定) 午前10時開会
9月20日(水)～22日(金)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送る磁気ループを導入しています。

AEDの市内公共施設の設置状況について

幡垣 正生 議員

質問 AED（自動体外式除細動器）の市内公共施設への設置状況と設置場所の周知について、また本市主催イベント等開催時の対応を伺う。

市長 AEDは、平成16年に非医療従事者の一般市民にも使用が認められて以降、急速に普及した。本市では市役所や体育施設、学校など公共施設40箇所に計42台設置し、本市ホームページや防災マップ、全国AEDマップ等で市民に周知している。貸し出し用は市役所等に計5台配備している。本市主催・後援事業や公

共的団体の活動事業にも積極的に貸し出し、予期せぬ事態に備えている。



▲中央体育館に設置されているAED

民生委員・児童委員と行政及び学校との連携は

佐藤 弘治 議員

質問 民生委員・児童委員は、福祉や子育て等において、本市や学校とどのように連携をとっているのか。

市長 民生委員は地域と行政のパイプ役として、各部署の委員会では住民が抱える問題を熟知する立場で協議・検討に協力し、また、住民をサービス窓口につなぐ等の活動をしている。児童委員は、問題を抱える児童・生徒に関係機関や保護者とも連携して支援を行う。毎年、児童委員、学校、児童相談所、子ども家庭支援センターの4者が児童・生徒の

問題解決に向け協議し、認識を共有して日頃の取り組みに生かしている。



▲民生委員・児童委員パンフレット

避難所の管理運営と在宅等避難者支援について

五十嵐 みさ 議員

質問 性的少数者（LGBT）への配慮や在宅避難者・車中等避難者への支援、ペットの同行避難等、新たな課題に対する本市の取り組みは。

市長 女性や要配慮者への配慮は、避難所の運営上大変重要である。

現在、小・中学校ごとに避難所運営連絡会を設け、避難所運営マニュアルを作成し、要配慮者等への対応を協議している。今後は、新たな課題についても協議をしていきたい。また、在宅・車中等避難についても、地域防災計画改定に合わせて関係機

関の取り組みなどを精査する。



▲福生市防災訓練の様子

多文化共生における窓口業務等の支援機能強化について

青木 健 議員

質問 タブレット端末の外国語通訳アプリケーションを使って、外国人に窓口対応する官公庁や病院等が増えたが、導入について所見を伺う。

市長 市役所1階に秘書広報課広報広聴係を配置し、外国人にも相談窓口として活用いただいている。現在は特段支障はないが、タブレットによる外国語通訳アプリケーション等は多言語に対応し、外国人とのコミュニケーションツールとして有効だと思うので、導入済みの他自治体の活用状況や事業形態、経費等も含

め、情報収集に努める。



▲タブレット端末を利用したテレビ通訳システムによる窓口対応（新宿区HPより）

防災食育センターの食物アレルギー対応について

池田 公三 議員

質問 7大品目以外のアレルギー原因物質を持つ児童・生徒への対応を伺う。担任にも、保護者と同様の詳細な献立表を配布すべきでは。

教育長 今年9月から特定原材料7品目を除去した1献立を提供する。それ以外の原因物質を持つ児童・生徒については、希望する保護者に詳細献立表と使用食材原料配合表を配布し、該当物質が含まれる日には現在と同様に、学校に届け出たうえで各家庭で準備してもらう。現在も小学校教員に詳細献立表等を配布して

おり、9月からも中学校を含め配布し、情報共有する。



▲食物アレルギー対応給食の個別容器

生産緑地の要件緩和について

堀 雄一朗 議員

質問 都市緑地法等の一部を改正する法律が成立し、生産緑地指定下限面積の引き下げが条例で可能となった。本市への影響と取り組みは。

市長 生産緑地制度は、本市の優良農地を残すため貴重な制度である。追加指定可能箇所や農業者等の意向は把握していないが、今後、農業委員会と調整する。生産緑地の保全・活用や追加指定等は、農業振興計画や緑の基本計画の重点施策でもあり、農業委員会の要請があれば、公園緑地等整備や土地利用状況を勘案し、

面積要件緩和が必要なら条例制定や追加指定手続きを進める。



▲市内の生産緑地

第67回

福生七夕まつり

今年も民踊パレードに参加します

8月3日(木)～6日(日)



市内のカラスの巣撤去について

奥富 喜一 議員

質問 旧自由広場の住宅建設地内にカラスの巣があると通報があったようだが、対応や動物愛護法との関連、住民生活の安全との調和を問う。

市長 動物愛護法の対象は飼育動物であり、カラスは対象外であるが、鳥獣保護法の保護対象なので、被害もなくむやみに巣は撤去できない。

総務部長 今年3月、もくせい公園利用者から住宅貸付地南側にある巣の撤去依頼があり、貸付事業者を確認と撤去を要請した。巣にひながおり、威嚇等も認められなかった

め、5月にひなの巣立ちを確認した後に、貸付事業者が巣を撤去した。



▲カラスの巣の様子

総合教育会議の現状と評価について

原田 剛 議員

質問 総合教育会議は、教育現場の取り組みや本市の施策の効果等が確認でき、その意義は大きいと思うが、会議の現状と評価を伺う。

市長 これまでに延べ5回会議を開催。初回には教育大綱を策定し、私の進行のもと、教育長、教育委員のほか市長部局からも毎回出席する。放課後児童問題や英語教育の推進、学力向上に向けた授業改善等、時々の現状認識や改善テーマを掲げ、必要な人材を加えて議論や意見交換を重ねたことで、教育委員会との連携

が強化され、本市教育行政にとって効果的で意義深いものとなっている。



平成28年度 政務活動費の活用状況 をお知らせします

政務活動費は、地方自治法や福生市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として各会派に対し交付されます。

交付額は、会派の所属議員1人につき月額2万円です。(残金が生じた場合は返還) 各会派の収支報告書は、議会事務局(市役所第2棟3階)及び市ホームページでご覧いただけます。

会派名	所属議員	交付額(円)	支出額(円)	返還額(円)	主な用途
正和会	佐藤弘治 幡垣正生 町田成司 武藤政義 清水義朋 末次和夫 乙津豊彦 串田金八 田村昌巳 大野 聡 杉山行男	2,640,000	2,451,582	188,418	・調査研究費 教育行政について(西都市)ほか ・研修費 全国都市問題会議(岡山市) ・広報費 正和会だより発行諸経費 ・資料作成費 コピー用紙、インクカートリッジほか ・資料購入費 書籍
公明党	青木 健 五十嵐みさ 堀雄一朗 原田 剛	960,000	985,333	0	・調査研究費 「認知症の人とともに暮らすまちづくり宣言2015」について(大牟田市)ほか ・広報費 公明ふっさ発行諸経費 ・資料作成費 コピー用紙、インクカートリッジ
日本共産党	池田公三 奥富喜一	480,000	579,279	0	・研修費 自治体議員立憲ネットワーク研修(那覇市) ・広報費 日本共産党福生市議団ニュース発行諸経費 ・資料作成費 コピー用紙、インクカートリッジほか ・資料購入費 書籍、日本教育新聞
市民派クラブ	田村正秋	240,000	258,100	0	・研修費 全国都市問題会議(岡山市) ・広報費 市民派クラブだより発行諸経費
生活者ネットワーク	三原智子	240,000	239,088	912	・調査研究費 障害者差別の解消に向けた条例の制定について(明石市)ほか ・研修費 全国都市問題会議(岡山市)ほか ・広報費 議会報告会諸経費 ・資料作成費 用紙代 ・資料購入費 書籍、西多摩新聞、西の風新聞ほか

ご利用ください インターネット議会中継

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけたと思います。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたく考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ (<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

「声の市議会だより」を お届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデージー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたらご連絡ください。 議会事務局 ☎042-551-1523

○デージー(DAISY)とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

平成29年 第2回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 清水 義朋 (一括)	1 横田基地について (1)C V - 22オスプレイについて (2)R Q - 4 グローバルホークについて (3)国からの情報提供について 2 電線類地中化について (1)電線類地中化に対する東京都の動きについて (2)市の考え方について	⑧ 堀 雄一朗 (併用)	1 入札制度について (1)公共工事契約の不調対策について (2)都の入札契約制度改革について 2 マイナンバーカード申請サポートについて 3 生産緑地の要件緩和について 4 インフルエンザ予防接種の助成について 5 無電柱化の推進について
② 町田 成司 (一問一答)	1 福生市公式キャラクターの運用について (1)福生市公式キャラクター「たっけー」の運用、管理について 2 道路行政について (1)道路整備計画の概要について	⑨ 幡垣 正生 (併用)	1 銀座通りのインターロッキング舗装について (1)現在の状況と維持管理について (2)今後の方向性について 2 市内のAED普及に対する取り組みについて (1)市内公共施設の設置状況について (2)AED講習会等への取り組みについて
③ 田村 正秋 (一括)	1 公園管理について (1)かに坂公園ののり面の対応について 2 総合戦略に基づく定住化施策について (1)具体的な取り組み等について 3 福生市中央体育館について (1)老朽化対策等について 4 交通安全対策について (1)中学校で実施されたスケアード・ストレイト方式の交通安全教室について (2)高齢者の交通安全対策について	⑩ 五十嵐 みさ (一問一答)	1 福生市の地域防災計画と事業継続計画について (1)福生市防災会議における女性の登用について (2)災害時要配慮者と避難行動要支援者について (3)多様な防災訓練について (4)避難所の管理運営と在宅等避難者の支援について (5)事業継続計画での非常時の職員への対応について 2 介護保険事業について (1)第6期介護保険事業計画の進捗と第7期計画の改正概要について (2)在宅医療介護連携について
④ 乙津 豊彦 (併用)	1 マイナンバーについて (1)通知カード並びにマイナンバーカードの発行状況について (2)運用状況並びにスケジュールについて (3)手続きにおける個人番号の記載・確認について 2 国道16号線拡幅工事について (1)現状について (2)事業に対する市の関与について	⑪ 池田 公三 (一問一答)	1 人口減少対策、定住化対策について (1)子育て世代への住宅施策について (2)空き家対策について 2 福生市の財政状況について 3 防災食育センターでの食物アレルギー対応給食の開始について (1)食物アレルギー対応について (2)食物アレルギー対応の献立作成・調理・配送業務の外部委託について
⑤ 三原 智子 (一問一答)	1 市民の安全対策について (1)他国からの武力攻撃等に対する現在の市の対応について (2)Jアラートの周知について 2 総合教育会議について (1)会議の役割と市長の考えについて (2)平成29年度第1回総合教育会議について	⑫ 原田 剛 (併用)	1 生活困窮者自立支援について (1)子ども学習支援事業と任意事業について 2 総合教育会議について (1)現状と評価について (2)総合教育会議の方向性について 3 特別支援教育について (1)特別支援教育の充実について (2)特別支援教室と通学について 4 就学援助費の支給状況と入学前支給について 5 学校トイレの洋式化について
⑥ 佐藤 弘治 (一括)	1 民生委員・児童委員について (1)民生委員制度の概要等と職務について (2)配置等について (3)行政、学校との連携について (4)民生委員制度100周年記念事業について 2 まちづくり行政について (1)公共施設等総合管理計画について (2)立地適正化計画の方向性について	⑬ 奥富 喜一 (一問一答)	1 横田基地について (1)グローバルホークについて (2)急増し続けるパラシュート降下訓練について (3)4年連続飛行回数1万回超えについて (4)オスプレイの飛行時間と重大事故率増加について (5)オスプレイの飛来・離着陸急増について (6)C V - 22オスプレイの配備延期について 2 核兵器禁止条約草案発表について 3 市内のカラスの巣撤去について 4 市内の地震対策について
⑦ 青木 健 (一問一答)	1 多文化共生について (1)多文化共生推進の方向性について (2)多文化共生推進の体制づくりについて (3)窓口業務等の支援機能の強化について (4)多文化共生社会構築の担い手について 2 食育について (1)福生市における食育の考え方について (2)学校給食について (3)食物アレルギーについて		

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情の審査が6月13日、14日及び15日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。また、横田基地対策特別委員会、まちの魅力づくり対策特別委員会が6月16日に行われました。ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設環境委員会

6月13日に委員会が開催され、開会后、市道路線の認定箇所及び地域活性化センター（もくせい会館）を現地視察しました。その後、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。



▲市道第1279号線の認定箇所を現地視察

◇平成29年度福生市一般会計補正予算（第2号）（建設環境委員会所管分）
問 商工会への補助金の増額の理由は何か。また、消費者行政推進交付金は

毎年あるのかどうか。
答 平成29年4月の段階で商工会3名の人事異動があり、その3名のうち平成28年度中は課長の職がいなかったが、課長の職がここで配置され人件費が増となっている。消費者行政推進交付金については、平成29年度で新規事業の申請が最後となっている。

◇市道路線の認定について
問 雨水が流入したとのことだが、どの位の量なのか。私道を市道として寄附を受けるにあたり、基準、要件はどのようなものか。
答 平成28年8月の台風9号では、道路内が約20cmの冠水になった。主な条件については、起点及び終点が市道に接続し、幅員4m以上、すみ切り2m以上、道路敷地の境界が明確に区別されていることとなっているが、本件は雨水が流入するた

め寄附を受けた。
問 1279号線の方で、移管に当たって東京都に何か条件を付けたことはあったか。
答 市で道路を整備するのではなく、都で整備をしっかりとっていただいた後に移管するという条件で受けた。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算（第2号）（市民厚生委員会所管分）
問 熊川保育園改良費補助金による工事の内容とその効果は。
答 保育室の仕切りや柵を取り払ったり、廊下に拡張することで、面積を増やし、定員を1歳児3人、2歳児2人、3歳児1人、全体で74人から80人に増やす。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算（第2号）（総務文教委員会所管分）
問 システム改良委託料

の積算根拠、保育園改良費補助額算出根拠、定員増後の面積要件確保は。
答 システム改良委託料の積算根拠は、同じシステムを利用している30自治体で、必要な総費用を算出、諸費用を加えた金額である。保育園の改良工事後、定員を増やしても面積要件を満たすことができる。改良工事の補助基準額は、市の建築担当など公的機関と工事請負業者の2者以上で見積り、これを比較し低い方の額を基準とする。
問 住民基本台帳事務のシステム改良委託料への補助金はあるのか、保育所持機児童の状況と見通しは。
答 国等からの補助金はない。待機児童は、平成29年度4月はゼロだが、予断を許さない状況である。
問 新たな在留資格の技能実習3号イとロとは。
答 技能実習3号イは、日本の企業等が海外の現地法人、合弁企業や取引先企業の職員を受け入れるもの、技能実習3号ロは、事業協同組合、商工会などの団体に加盟する企業等で技能実習を行うもののうち4年目、5年目の受け入れ資格である。今後同様の追加には対応できる。



▲園舎の改良が予定されている熊川保育園

問 住民基本台帳事務のシステム改良の内容は。
答 在留資格コードの拡張、住民基本台帳システムの画面表示追加、住民票などの帳票への新たな在留資格の反映である。
問 システム改良委託料

◇平成29年度福生市一般会計補正予算（第2号）（総務文教委員会所管分）
問 福生市防災食育センター調理室の様子

問 小学校体育館非構造部材落下防止対策事業の歳入において同じ名前の補助金が2つ計上されているが違いと経緯は。
答 それぞれ国庫補助金と都補助金で事業費の3分の1と6分の1が補助される。いずれも交付決定時期に予算編成が終了していたため6月補正となったもの。
問 防衛省9条交付金から文科省及び東京都の補助金に振り替えた理由は。
答 使途が決まっているこれらの補助金に対し、9条交付金は、一定の制約はあるもののハードにもソフトにも使えるので他の事業に充当できるため。

問 財源振替に伴う不足額を、小学校体育館非構造部材落下防止対策事業では事業債を使い、便所改良事業では学校施設等整備基金から繰り入れるのは。
答 非構造部材落下防止対策事業の起債は、元利償還金の50%が普通交付税に算入されるが、便所改良事業の起債は算入されないため。
問 非構造部材落下防止対策事業における起債と一般財源の考え方は。
答 起債は特定財源を除いた額の75%と決められており、残りは一般財源となる。

市民厚生委員会

6月14日に委員会が開催され、開会后、市内のれんげ園、グループホーム元気の現地視察を行いました。その後、1件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算（第2号）（市民厚生委員会所管分）
問 熊川保育園改良費補助金による工事の内容とその効果は。
答 保育室の仕切りや柵を取り払ったり、廊下に拡張することで、面積を増やし、定員を1歳児3人、2歳児2人、3歳児1人、全体で74人から80人に増やす。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算（第2号）（総務文教委員会所管分）
問 福生市公立学校と福生市立学校との違い、用語の整理を行う理由は。
答 公立学校は範囲が広いので、市例規の他の規則等と同様に市立に整理する。

問 学校給食センターに愛称を付ける考えは。
答 現在のところ愛称を付ける考えはない。

問 小学校体育館非構造部材落下防止対策事業の歳入において同じ名前の補助金が2つ計上されているが違いと経緯は。
答 それぞれ国庫補助金と都補助金で事業費の3分の1と6分の1が補助される。いずれも交付決定時期に予算編成が終了していたため6月補正となったもの。
問 防衛省9条交付金から文科省及び東京都の補助金に振り替えた理由は。
答 使途が決まっているこれらの補助金に対し、9条交付金は、一定の制約はあるもののハードにもソフトにも使えるので他の事業に充当できるため。

総務文教委員会

6月15日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決・同意されました。

◇福生市学校給食センター条例の一部を改正する条例
問 福生市公立学校と福生市立学校との違い、用語の整理を行う理由は。
答 公立学校は範囲が広いので、市例規の他の規則等と同様に市立に整理する。

問 小学校体育館非構造部材落下防止対策事業の歳入において同じ名前の補助金が2つ計上されているが違いと経緯は。
答 それぞれ国庫補助金と都補助金で事業費の3分の1と6分の1が補助される。いずれも交付決定時期に予算編成が終了していたため6月補正となったもの。
問 防衛省9条交付金から文科省及び東京都の補助金に振り替えた理由は。
答 使途が決まっているこれらの補助金に対し、9条交付金は、一定の制約はあるもののハードにもソフトにも使えるので他の事業に充当できるため。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

議員表彰

全国市議会議長会では、議員として多年にわたり地方自治に功績のあった方を表彰しています。平成29年度においては、次の方が表彰されました。

- 議員10年以上
 清水義朋 議員 末次和夫 議員
 乙津豊彦 議員 杉山行男 議員



まちの魅力づくり 対策特別委員会

6月16日に委員会が開催されました。新設の委員会であり、調査事項(付議事件)は、「新たな観光資源の創出について調査研究を行うこと」として

います。今回は、2件の議題について協議しました。主な内容は次のとおりです。

1 福生市の観光行政の現状について

シテイセールス推進課より福生七夕まつり、ふっさ桜まつり、ほたる祭、観光ガイドツアー等のまちなかおもてなしセンターシオン事業、アメリカンハウスを中心に情報発信を行うベースサイドストリート観光事業、市内2つの酒蔵を含む「東京の酒」ブランド構築を推進する酒蔵事業及びJAF観光協定の現状や今後の取り組み等について説明がありました。



▲観光施策のひとつである福生七夕まつり

ry(トウキョウ サケブルワリー)や福生市プロモーション動画「What's UP Fussa(ワッツアップフッサ)」の上映がありました。

続いて、企画調整課より、REASAS(リーサス) ※・地域経済分析システムを活用した観光に関する統計データによる福生市交流人口の現状について説明がありました。 ※REASAS(リーサス)は、地方創生のさまざまな取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)が提供しているデータ。

2 今後の進め方について 各委員より、次のような意見がありました。主なものは次のとおりです。中野区のように、歴史ある神社仏閣や人気のあ

る飲食店の紹介など、若者の視点も取り入れた観光資源の再発見の必要性。現在の観光資源を分析し、再構築していく。

和と洋の文化の更なる魅力づくりの推進。基地とタイアップした新たなイベントの創出。多摩産材による伝統工芸産業の振興など、広域での観光行政の取り組み。ポルダリングなどスポーツ施設の充実による交流人口の創出。福生市内で途切れている玉川上水の歩道の開通。

横田基地対策 特別委員会

6月16日に委員会が開催され、横田基地に関する4件の議題について審査しました。主な内容は、次のとおりです。

1 平成28年度防衛補助事業実施状況について 民生安定施設補助事業は3事業が実施された。市道幹線II-19号線外1改良事業(第4工区)は、事業費1億77万円、補助額8591万3千円。防災食育センター整備事業は、事業費15億8944万6千円、補助額11億9208万3千円。新扶桑会館整備事業実施設計は、事業費604万7千円、補助額315万8千円。特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は3事業で、基金への積み立てが実施された。防災食育センター食育用品整備事業は積立額3億円。英語教育指導助手(外国人)委託事業は積立額9千万円。

2 平成30年度防衛補助事業概要案について 平成30年度防衛補助事業の概要案として、次の事業を要望している。

- ① 雨水管渠更生事業に係る全体計画調査委託
- ② 第三小学校防音機能復旧(復機) 工事(講堂)
- ③ 第五小学校防音機能復旧(復機) 工事(校舎)
- ④ 第六小学校の防音機能復旧(復機) 設計委託(校舎) 及び(講堂)
- ⑤ 第三中学校防音機能復旧(復機) 設計委託
- ⑥ 第三中学校防音機能復旧(復機) 設計委託
- ⑦ 第三中学校防音機能復旧(復機) 設計委託
- ⑧ 新扶桑会館整備工事
- ⑨ 防災行政無線施設改良工事設計委託
- ⑩ 9事業補助額3億3133万4千円。

3 横田基地周辺対策等要望事項(案)について 7月18日に予定している委員会の全委員による防衛省及び北関東防衛局への要請行動の要望事項案について協議を行った。要望は全8項目である。

- 4 横田基地に関する情報等について
- ① 3月17日から22日にかけて計6機のオスプレイが横田基地に飛来した。
- ② 人員降下訓練が3回行われ、市民から騒音による苦情が7件あった。
- ③ 横田基地を離陸したC-15輸送機が油圧計の異常のため横田基地へ再び着陸した。
- ④ 横田基地有志によるボランティア活動等の報告があった。
- ⑤ 横田基地で関東航空機空中衝突防止対策協議が開催され、民間航空機が飛来した。
- ⑥ 米空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練が硫黄島で実施できない場合は横田基地を使用して実施するとの連絡が国からあったが、実施されなかった。
- ⑦ 米空軍無人偵察機グロバルホークが横田飛行場へ一時展開している。
- ⑧ 市内で米軍関係者による交通事故があった。
- ⑨ 5月26日から6月9日に横田飛行場に米軍F-16などの航空機が飛来した。



▲グローバルホーク (yokotajohoブログより)

特別委員会活動から……

編集後記

隔年での議会人事の改選があり、新たな顔ぶれで初の定例会となりました。2年前は緊張感でいっぱいだった1期目の議員も、「習うより慣れる」ではありませんが、一般質問、委員会の審査などでは、新たな構成でもしっかりとその役目を果たしていただけていると感じております。

さて、表題にもありますが、北朝鮮の度重なるミサイル発射及び核開発は、我が国をはじめ国際社会においても非常に危険なことで、今回、議員提出議案として意見書を提出させていただきました。米軍基地の有無に関わらず、もしもの時には大きな被害が及ぶこととなるわけで、国においてもしっかりとした対応を求めているかなければなりません。さて、新たに「まちの魅力づくり対策特別委員会」が設置されました。地方創生の切り札は「よそ者、馬鹿者、若者」とも言われ(地方創生ビジネスの教科書・増田寛也著から)、部外者の目線も取り入れたいとの意見も出ています。ぜひ委員会にも傍聴にお越しください。